

神戸市立博物館視察

会派誠の会は去る 6 月 29 日神戸市立博物館に視察をし、その概要について報告します。

1、博物館の理念と建設について

神戸という国際港都という外国と船で繋がっている港湾都市中国や朝鮮との関係があり近代以降は欧米・東南アジア各国との交渉が盛んでいわば日本を代表する世界各国との窓口玄関口である「国際文化交流東西文化の接触を変容」をテーマとしている。

神戸の持つ特異性やその形成過程の追求諸外国事情にも寄与しどうすれば神戸市民に役立つかを理念にしている。

三菱UFJ銀行より昭和57年に建物を寄贈され改装し博物館として開館し今日に至っている更に平成30年2月よりリニューアルをし入館料現在200円をリニューアル後は1Fを無料とする予定。

姉妹館として小磯良平記念館と神戸ゆかりの美術館を運営している。

2、展示

常設展 南蛮美術館 古地図企画展示 常設展示

特別展 平成28年12/23～平成29年4/2「7 古代ギリシャ時空を超えた旅」

平成29年4/2～7/17 「遙かなるルネサンス天正遣欧少年使節が辿ったイタリア」

平成29年8/5～9/24「神戸港150年記念特別展「開国への潮流・開港前夜の兵庫と神戸」

平成29年10/28～平成30年2/4「ボストン美術館の至宝展東西の名品珠玉のコレクション」

3、所感

特別展、企画展を年間通して開催し入場者数の確保に努めながら常設展示にも人が多く来る場に誘導する様に工夫していることがうかがえる。

又、神戸市として協賛企業が大手である事も利点として大きいと思う。

会計は歳入408,666千円で人件費は教育費から歳出230,791千円で指定管理は導入せず運営している。

建物は(旧横浜正金銀行神戸支店)東京銀行神戸支店から寄付を受け平成10年9月に登録文化財に指定銀行跡地と増築部分を利用し5階地下1階を上手に利用している。

この博物館は考古歴史資料銅鐸銅戈国宝を始め青銅の発器近代化の歴史が分かりやすく展示されている。

活動としては展示会の開催教育普及活動として神戸歴史探検隊校外学習夏休み土器作

り教室等を行っており特別利用として館蔵資料の貸し出し写真の貸し出し等を行っている